

2026 年 7 月 16 日

トヨタ自動車よりスピンアウト、海上コンテナ輸送の効率化支援事業

「OneStream」独立・資本体制確立のお知らせ

—— 港湾物流の社会課題解決を担う、業界中立プラットフォームとして本格始動 ——

OneStream 株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：足立 聡史）は、2026 年 6 月 29 日付でトヨタ自動車株式会社からの吸収分割により事業承継が完了し、第三者割当増資により複数の戦略的投資家より出資を受け、独立した資本体制のもとで事業を本格始動いたしました。

解決すべき社会課題

私たちの生活、企業の経済活動を支える日本の港湾物流は今、構造的な危機に直面しています。コンテナ船の大型化による港湾渋滞の慢性化、2024 年問題に起因するトラックドライバーの深刻な不足、そして待機・空走による効率の低下や CO₂排出。これらは個別企業の努力だけでは解決できず、荷主・運送・倉庫・港湾事業者が横断的につながるデジタル基盤の整備が不可欠です。

OneStream は、この課題に正面から向き合うために生まれました。

OneStream が提供する価値

荷主から港湾まで、トラック・倉庫を含む海上コンテナの物流プロセスを一気通貫で管理・最適化するプラットフォームです。

トヨタ自動車において開発・運営されてきた本サービスは、「現地現物」の思想のもと、現場に徹底的に向き合い続けた結果として生まれたものです。導入実績においては以下の成果が確認されています。

指標	改善効果
コンテナ車両の滞在時間	70%低減

コンテナ輸送の回転数	101%向上（最大）
倉庫作業効率	30%改善
配車指示工数	70%低減
輸送依頼業務	30%低減

業界中立プラットフォームとしての立場

OneStream はトヨタ自動車の現場改善のプロセスにルーツに持ちながら、特定のメーカーや荷主に有利に働く仕組みは一切持ちません。本プラットフォームは自動車メーカーを問わず、流通・小売・化学・食品など多様な業種の荷主企業、および複数の運送・倉庫・港湾事業者に対してサービスを提供しており、利害関係のない中立的な立場でサプライチェーン全体の効率化を支援します。

データの取り扱いにおいても、各社の情報は厳格に分離・管理され、競合他社のデータが互いに参照されることはありません。

今後の展開

【地理的拡張】 現在、名古屋港をはじめとする主要港湾エリアにて展開しており、引き続きサービスの深化を図るとともに、地方港湾への展開を加速してまいります。

【機能拡張】 港湾・コンテナヤードからトラック輸送領域へのサービス拡張を進め、コンテナの搬入から納品までを一気通貫でカバーするプラットフォームへと進化させてまいります。

【オープン化】 外部サービスや基幹システムとの連携を見据え、API をはじめとする連携基盤の構築を進めてまいります。また、港湾局・行政機関との協力を通じて、業界標準となるデジタルインフラの整備にも貢献してまいります。

【チーム構築】 物流・IT・経営それぞれの領域から知見を持つ人材を結集し、現場に根ざしたチームを作り上げていきます。

出資体制について

本独立にあたり、トヨタ自動車株式会社に加え、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、NE インベストメント株式会社※2の計3社より出資をいただくとともに、代表取締役 足立聡史自身も自己資本を投じ、経営者としての覚悟のもと資本構成を構築いたしました。製造業・物流業界に深く根ざした株主構成のもと、業界横断のプラットフォームとして事業を推進してまいります。 ※2 日本エンタープライズ株式会社の子会社

代表取締役からのコメント

OneStream は現場主義を武器に、荷主・運送・倉庫・港湾すべてのプレイヤーが対等に使える中立プラットフォームとして、日本の物流を根本から変えることを目指しています。今回の独立と出資を機に、物流を社会インフラとして再定義する挑戦へ、踏み出してまいります。

— 代表取締役 足立 聡史

OneStream 株式会社 会社概要

社名	OneStream 株式会社
設立	2026 年 4 月 1 日（吸収分割効力発生：2026 年 6 月 29 日）
所在地	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2 丁目 1 5 番 2 2 号 名古屋伏見 K フロンティア 9F
代表取締役	足立 聡史
事業内容	荷主から港湾までを繋ぐコンテナ物流全体最適化システムの開発・提供
URL	https://onestream.co.jp

本件に関するお問い合わせ

OneStream 株式会社

info@onestream.co.jp